

## 短歌

## 【小学1年生・2年生】

特選 行ってきますドアをあけたらスイッチオン

今日も元気に学校行くぞ

高宮小学校2年 堀田 悠介

(評)

朝の登校するようす、気がまえがよく詠まれていてとても良い歌だと思います。読む人は朝のすがすがしさや元気をもらえます。学校のたのしさもうかがえます。短歌をつくることをこれからもつづけてください。

(彦根文芸協会 森 典子)

準特選 かさをかい家までさしてスキップで

おとうとむかえランランラーン

平田小学校2年 森戸 玲心

(評)

かさを買ってもらい、さっそくさして家へ「スキップ」「ランランラーン」でうれしさが伝わってきます。そしてかわいいおとうとさんのおむかえ、たのしい歌になりました。

(彦根文芸協会 森 典子)

佳作 ともだちとサッカーしてたのしいな

またともだちとまたやりたいな

平田小学校2年 北村 潤奈

入選 あつい夏たべておいしいかきごおり

とてもつめたいみんなでたべよ

平田小学校2年 南部 花寧

入選 おかあさんいつもそうじきかけている

へやをきれいにゴシゴシゴッシ

平田小学校2年 吉川 遥人

【小学3年生・4年生】

特 選 山の中おちばのじゅうたんふかふかと

どんぐり木の实おみやげひろい

稲枝東小学校3年 有田 凜音

(評) たくさんの赤、黄、茶色の落葉をふかふかのじゅうたんと表現されているところ

ろがとてもよかったと思います。どんぐり木の实のおみやげ、だれにあげるのかな。

作者のやさしい心も感じられます。よい歌です。

(彦根文芸協会 森 典子)

準特選 けんかしてとてもおこっていたけれど

すなおになればいい気持ちする

城西小学校4年 中村 颯

(評) けんかの相手はお友達かな。でもそういう友達が一生の親友になるかも知れま

せんね。ぶつかり合いながら成長していくものだと思います。心のうちをすなお

に歌にしたのがよかったです。

(彦根文芸協会 森 典子)

佳 作 パチパチとせんこうはなびおちそうだ

おちないようにかたむけてみる

城南小学校4年 國安 祐衣

入 選 ひまわりはわたしのせより高くなり

わたしはすこしさびしくなった

城南小学校4年 藤田 夏漣

入 選 おかあさんがカラカラと鳴ったおべんとう箱の

音を聞いてよろこんでいる

平田小学校3年 原田 小太郎

## 【小学5年生・6年生】

特選 真夜中に雪積もり朝銀世界

あしをあげふむ初めの一步

城北小学校6年 清水 音花

(評)

いんりつの効いた短詩形になりました。三句まで読み手にすんなり伝わります。「あしをあげふむ初めの一步」と、雪の中に入った瞬間しゆんを詠み成功しました。

このように自分のことばでどどん詠みましよう。気をつけて歌材をひろってください。

(彦根文芸協会 長谷川 紀子)

特選 おいもほりほってほってほりつくし

軽トラ荷台に紫の山

城西小学校6年 西田 妃那

(評)

「ほってほってほりつくし」と、すなおなありのままの表現が独創的でもありよかったです。

「軽トラ荷台に紫の山」と、視覚でもとらえた芋堀り、楽しかったことでしょう。このように、あなたのことばで自信をもって詠み進んでください。

(彦根文芸協会 長谷川 紀子)

準特選 里帰り海から帰ったサケ達で

上流域ではじゅうたい中

城西小学校6年 陌間 聡志

(評)

海から帰ったサケの群を、「じゅうたい中」ととらえた眼差しがよく効いています。

仕事や車ばかりか、サケのじゅうたいを見たとは楽しい旅をしましたね。四句結句が特によかったです。これからもことばを選択しつつ詠み続けましよう。

(彦根文芸協会 長谷川 紀子)

準特選 いいにおいおかし作りはたのしいよ

人にあげたらだいこうひよう

城北小学校6年 大橋 咲杏

(評)

自分の作ったおかしをよるこんでもらえる経験は、どれほどうれしかったことでしょう。

あなたの好きなおかし作りです。努力し続けければ、さらに上手くなるでしょう。このきっかけが一生の仕事になるかも知れません。夢の実現を楽しみにしています。

(彦根文芸協会 長谷川 紀子)

準特選 お母さんいつもじょうだんばかり言う

どれが本心か分からなくなる

平田小学校6年 三輪 明璃

(評)

お母さんは、子どもに接する時の間を大切に子どもにどこに伝えたくて、日々じょうだんを言うておられます。

会話のあるご家庭、うれしいです。

お母さんのじょうだんを楽しく思い出すよい大人になれるでしょう。

(彦根文芸協会 長谷川 紀子)

準特選 たのしみだ漢字テストを受けるのが  
早くしたいな百点とるぞ

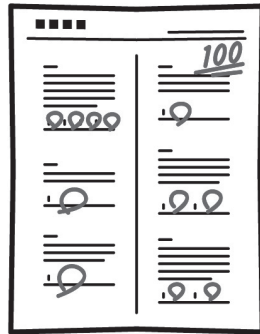
平田小学校6年 菊川 絢香

(評) 漢字テストを受けるための勉強がばっちり出来たと、歌材に選ばれたことがよ  
かった。

「早くしたいな百点とるぞ」と、テスト待ちのころ、楽しみだと自信たっぷり  
ですね。

これからも勉強をがんばってよい歌もたくさん作ってくださいね。

(彦根文芸協会 長谷川 紀子)



佳作 たのしみは好きな作家の小説を  
たくさん読んで落ち着く時

城西小学校6年 幡野 千温

佳作 たのしみはさんさんタイム外に出て  
みんなとともにドツチするとき

旭森小学校6年 池部 蒼空

佳作 おおだいこいきをあわせてもりあげる  
みんなががっそうさいこうちょう

平田小学校6年 佐野 こはな

佳作 たのしみは時代を作ったえいゆうと  
楽しくかたる夢を見る時

亀山小学校6年 清水 奏太

佳作 かぼちゃの顔少しかわいくくりぬいて  
ランプを入れてさあパーティーだ

稲枝西小学校6年 高橋 和花

入 選 ねぶそくだたくさんねてもダルすぎる  
ゆめのわたしはげんきいっぱい

城西小学校6年 中村 心春

入 選 ドンドンと大きくはじけるおおはなび  
おもわずこころおどっていたよ

城南小学校6年 高橋 みのり

入 選 さくらさき町がピンクにそまるとき  
みんな仲良くお花見をする

城北小学校6年 若林 真央

入 選 体重を減らすと宣言したものの  
がまんができずおやつを食べる

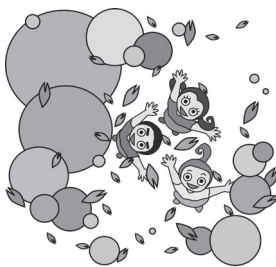
平田小学校6年 伊藤 遥菜

入 選 夏休み宿題終わらず大変だ  
しりに火がつき猛勉強

稲枝西小学校6年 匿 名

入 選 たのしみはちよつとふんばつ外食だ  
ステーキ食べて至福の一時

稲枝西小学校6年 安居 花凜



【中学生】

特 選 しずむ日にそまる道路は輝いて

ぼくらを照らす希望の道かな

西中学校1年 山内 陽太

(評)

美しい夕日に照らされた道路に感動して、希望へとつなげているところが良かったです。自然、空は素敵な美術館だと思ふことがあります。これからも、いろいろな発見をして短歌にしてください。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

特 選 こうかいが私のあとを追ってくる

君への気持ちあの日の別れ

西中学校2年 高田 湖子

(評)

せつない心の動きや流れをさわやかに詠んでいるところに響くものを感じます。青春にしか味わえない心のときめき、青春にしか詠めない歌をたくさん作ってください。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

特 選 小さな子怖くないよと話してる

看護師さんは心の支え

稲枝中学校2年 辰己 雛子

(評)

小さな子に怖くないよと言葉をかける看護師さんの優しさを心あたたく感じて詠んだ作品です。日夜働いてくださる看護師さんのご苦労や思いやりを感じると心を大切に、感性を磨いてください。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)



準特選 声かける君との会話が弾むとき  
私の心一緒に弾む

稲枝中学校2年 奥田 理子

(評) 弾むのリフレインに勇気を出して、声をかけたときめきとうれしさが上手に表現できています。調べも良い歌です。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

準特選 「ありがとう」その笑顔から一日の  
疲れ吹きとぶ魔法の言葉

稲枝中学校2年 安居 恭花

(評) 「ありがとう」という感謝の言葉と明るい笑顔があると、疲れものりきれるのですね。どちらも大切に素敵なことです。言葉に無駄のない良い作品です。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

準特選 一面に輝きつづけるひまわりは  
風になびいて笑顔生みだす

彦根中学校2年 岸本 心花

(評) あたり一面に咲きほこる、ひまわりの明るさと力強さを「笑顔」ととらえて、さわやかに詠んでいるところが良かった。明るさや美しさ、動きも表現されているので、心がなごむ作品になっています。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

準特選 母の日に朝一でハグその笑顔  
かけた言葉はいつもありがとう

彦根中学校2年 大西 真穂

(評) 母の日に素敵なおプレゼントを渡したのですね。お母さんに笑顔と感謝の気持ちを添えて。その美しい心でいろいろな作品をこれからも創ってください。リズムの良い歌です。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

準特選 涙あり喜びありの患者さん  
退院していき笑顔の別れ

稲枝中学校2年 西村 陽菜

(評) なみだあり、つらいこともあり、その中で人のあたたかさや親切に喜びを見出し退院するうれしさ。笑顔での退院です。人の心の痛みや喜びを感じとり表現できる感性をさらに磨いて良い作品を作ってください。

(彦根文芸協会 日比野 美鈴)

佳作 雨空にピカッと光るイナズマの  
衝撃走り筆止まる

彦根中学校2年 松下 海颯

佳作 日が照らす静かな水に一人だけ  
心さびしく泳ぎ続ける

西中学校2年 木村 和貴

佳作 マフラーに顔をうずめたその笑顔  
寒さまでもが心地良い

西中学校3年 磯谷 莉子

佳作 吹き抜けた強い風が教室を  
おどるカーテンあばれるプリント

西中学校2年 水野 祈星

佳作 秋の夕一緒に帰る君と僕  
不意に当たる手夕に染まる頬

鳥居本中学校2年 谷田 莉空

佳作 帰り道いつもの場所にコスモスが  
風にゆれてる小さなひかり

鳥居本中学校2年 村瀬 かのん

佳作 どうすれば伝えられるのこの思い  
叶わないこいきみを想う

鳥居本中学校2年 出口 涼紗

佳作 六枚の優勝ひかる赤の色  
次の決め手はみんなの音色

稲枝中学校2年 眞野 愛琉

佳作 朝起きて家族に「おはよう」「いってきます」  
家に帰れば「おやすみなさい」

稲枝中学校2年 西川 慎太郎

佳作 朝早く花に水やりしずくたち  
おひさまみたいキラキラ光る

稲枝中学校2年 久保 琶音



佳 作 さあはじまる心ひきしめ仕事する

ホメ言葉もらい気持ち高まる

稲枝中学校2年 池田 陽葵

佳 作 見渡すと辺り一面緑色

季節によって見る色変わる

稲枝中学校2年 伊丹 充琉

入 選 笑顔はね疲れた人の癒やしだよ

あいさつするたび笑顔が増える

稲枝中学校2年 宮川 煌理

入 選 台風はもたらす被害は大きいが

秋を伝える宅急便

西中学校1年 霜越 優日

入 選 彦根港静かな波の砂浜で

夕日はいつもやさしくてらす

西中学校1年 渡 心美

入 選 教室のまどから見える木々たちが

季節のかわり教えてくれる

西中学校1年 山郷 里紗

入 選 桜散るこの教室でふとおもう

たまに優しい君が好きでした

西中学校2年 北川 七虹

入選 しんしんと降り積もる雪に寂しさを  
重ねて私は空を見上げる

西中学校3年 山田 詩子

入選 なしカレーなしは姿を消してても  
みんなで作れば格別の味

中央中学校2年 朝日 大翔

入選 耳すまし自然の音ともう一つ  
みんなの声もとけこんでいた

南中学校2年 内藤 佳耶

入選 本当は出来たって出来なくなかったって  
「やれば出来る」は魔法の合言葉

南中学校2年 中澤 歩美

入選 夕方の夕日の沈む中一人  
夕日を背にして一人歩く

南中学校2年 西谷 菜那

入選 そそくさと小さき落ち葉踏みしめて  
一人で通う秋の通学路

南中学校2年 峯松 陸

入選 さむい冬雪の降る日はうれしくて  
まだふまれぬ場所ふみたくなる

南中学校2年 島川 孔希

入選 紅き葉が光に照らされキラキラと  
夜空に輝く星のよう

彦根中学校2年 山脇 彩菜

入選 空見上げ視野全体に星たちが  
まばたきをして世界を灯す

彦根中学校2年 北川 集一

## 【総評】

令和初めての子ども文芸に今年も皆さんの良い作品を応募していただき、ありがとうございます。短歌部門には、五二三人から七二七点の作品の応募がありました。

去年と比べて三一人少なく、作品数は四四五点減少しましたのは寂しく思います。拝見させて頂きました作品の中から六一点の入賞作品を選考させて頂きました。

小学生の部では、去年と比べて五・六年生の作品が少なくなりましたが良い作品があり、友だちのことや家族・地域でのできごと、希望や夢など、感動を素直に詠んでいるのはとてもよかったです。これからはもっと多くの皆さんが作品を出してくださるようお待ちしております。

中学生の部では、多くの中学校より応募があるのは嬉しいのですが、最近の上昇気運に比べ、応募者数が一転して減少傾向にあるのは残念です。今少し奮って応募がありますよう期待しております。作品は今年も、挨拶による人と人のつながりや仲間といっしょの活動、家庭での出来事・感謝の気持ち、世の中に対する思い、体験によって知ったこと、自分だけの世界など、幅広い内容の作品が寄せられたのは心強いし、良かったと思います。

短歌をつくるのに大切なことは、

①短歌は、日本語にある五・七・五・七・七のリズムと適切な言葉で作ってください。

②言葉が見つげにくい時は、辞書を引いて、他の言い回しがないか探してください。

③もう一度見直すことを忘れないように。

④一首作って出すのではなく、いくつかの自分の作品の中から、これと  
思う作品を選んで出してください。

⑤作った短歌を先生や家族などに見てもらってから出すとよい。  
このようなことを参考にして、これからも良い短歌作りに挑戦してくれるとうれしいです。

(彦根文芸協会 河分 武士)